

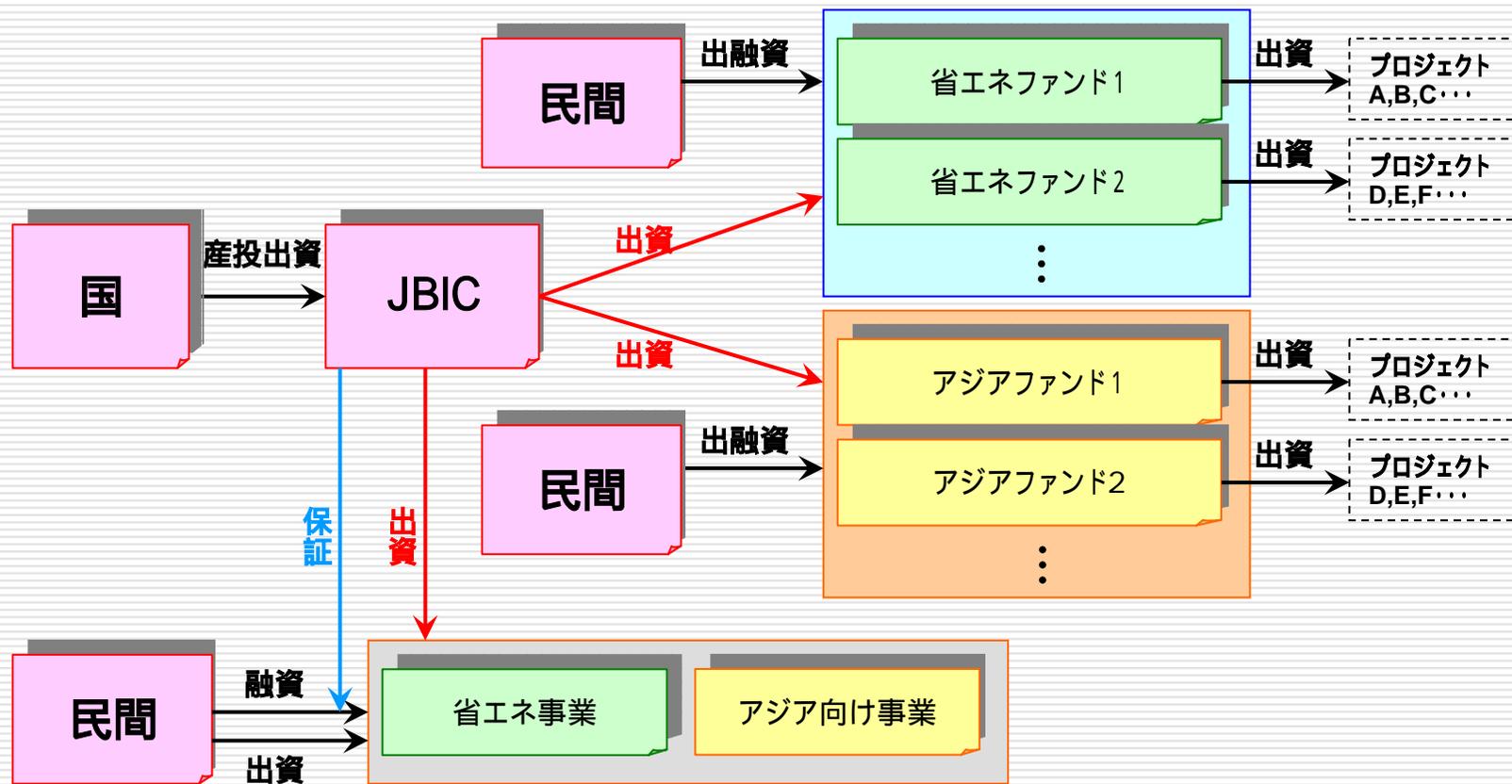
# JBICアジア・環境ファシリティのスキーム例

## JBICが出資に参加する意義

JBICの途上国経済・投資案件に係る知見、対途上国政府の交渉力の発揮  
投資案件の十分なセーフガードの確保

我が国民間投資家を取り纏める触媒機能

国際機関のスキームへの民間資金の動員による環境等政策課題への対応



# 「JBICアジア・環境ファシリティ」のコンセプト

---

## 目的

- ・ JBICの出資及び保証機能を積極的に活用し、民間資金を最大限動員。
  - ・ 洞爺湖サミットに向けて、我が国にとって政策的に重要な分野である、気候変動緩和対策に資する案件(省エネ・新エネ・森林保全等)及びアジア向け案件を積極的に支援。
- 

## 実施期間

平成20年度～24年度

---

## 財源措置

本ファシリティの実施に当たり、JBIC国際金融等勘定は、財政投融资特別会計(投資勘定)から200億円の出資金受け入れの予算措置を得ている。

---

ファシリティとは、新たな勘定や基金を設けるものではなく、出資・保証等の事業管理上の整理。

---